

おじゃまします！

今月は編集に悩
みました…(苦笑)

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2020. 5. 25 No.22

臨時休校が明けて（5/7）

「おる・でんウィーク」が明け、子どもたちが学校に帰ってきました。学校に子どもたちの元気な声が響くことがこんなにも素晴らしいことだったのかと、改めて思い知らされました。

上道小では、6年生が描いた妖怪「アマビエ」の写し絵が廊下に掲示されていました。メディアでも紹介されましたが、「アマビエ」は疫病の流行を予言し「自分の姿を描いて人に見せれば救われる」と言ったとか。子どもたちの願いは切実です。

一中では部活動が再開されました。総体など、力や技を發揮する場の多くがなくなりましたが、県内の中学校体育連盟は、これまで頑張ってきた生徒の思いに応えるため、時期をずらして、「予選大会」的な意味を持たない大会を開催するそうです。

地域みんなで子どもたちの頑張りを応援したいと思います。



「アマビエ」に願いを(上道小)



窓を開けての生活(一中)

アマビエをカメラに収めて紹介しようと水木ロードに行ったら、銅像はありませんでした。「あればよかった」と思う一方、逆にあったら多くの人が集まり、水木ロードは大混乱になったかもしれませんね。一刻も早い収束を祈るだけです。



ポスターはありました

上道小に給食ボランティア（5/13）

上道小学校には給食の配膳や後片付けを手伝ってくださる方がおられます。保護者の高橋勝幸さんです。

活動初日の13日、お話を伺いました。

【高橋さんの話】 募集のチラシを見て、少しでも学校の力になれたらと思い、応募しました。給食のないまちで育ったので、給食そのものが初体験ですが、学校主事さんの大変さがよくわかりました。学校には、本当にお世話になっています。子どもを預けるだけでなく親として積極的に関わっていきたいです。



ボランティアの活躍が学校にゆとりを生み、子どもたちの笑顔、豊かな学びや関わり合いを創り出す教育の充実を支えます。これからもお世話になります！



「気をつけてのせてね！」



「全部食べたかな・・・」

一中校区が生んだ逸材

すぎたにたいすい
杉谷代水



「月なきみ空に きらめく光
嗚呼その星影 希望のすがた
人智ははてなし 無窮の遠おち
いざ其の星影 きわめも行かん」(「星の界」1番)
※讚美歌に歌詞をつけた児童文学者杉谷代水は栄町の出身。「アラビアンナイト」や「クオレ」の翻訳でも知られ、「母をたすねて三千里」は彼の命名。1915年、40歳で早逝。

「一中校区が生んだ逸材」 一中・境小・上道小内で公開中！

クイズ「一中校区の宝物を探せ！」

意味深いものばかりです。さてどこにあるでしょう。



選奨記念碑



大火記念塔



足立儀代松・せい碑



玉栄丸事故慰霊碑



景山家墓地



幕末の常夜灯

(答えは次号に)

あなたも「ふるさと一中校区応援団」に

自分の興味・関心、趣味や特技、仕事を生かして、指導・支援をしてくださる方を広く募集しています。

★「まなびの応援団」

体験学習の支援、読み聞かせ、職場体験、部活動など。

★「あんしん応援団」

安全見守り活動、あいさつ運動、学校環境整備など。

★「ふれあい応援団」

交流活動の支援、ふれあい行事、講座の開催など。

【活動例】



魚さばき実習(まなび)



環境整備(あんしん)



昔の遊び(ふれあい)

お問い合わせは、一中・境小・上道小 各学校まで！